

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

JR東労組

本部OB会

ニュース

No.258 2018年7月発行

JR東労組第36回定期大会！ 組合員の信頼を取り戻すために、 新体制でスタートを切る

JR東労組は、6月13日さいたま市民文化センターにおいて第36回定期大会を開催しました。18春闘の過程で多くの組合員の脱退を生み出し、その総括議論が集中的に行われました。この定期大会には、来賓として本部OB会の古川会長が参加しました。

18春闘は失敗であり、敗北

議長団の選出後、あいさつに立った村田委員長代理は「今大会は、JR東労組運動の転換を通じて、職場にあるJR東労組に対する『不信』『不満』を、『信頼』『期待』へと高めていく大会である」と訴え、同時に本部の闘争目標、闘争戦術によって多くの組合員に心配と迷惑をかけたこと、謝罪と反省のことが述べられました。また、3点の総括視点が提起され、18春闘は「失敗」であり「大敗北」を喫したと総括しなければならないと訴えました。

JR総連は東労組と共に

来賓のJR総連榎本委員長からは、JR総連は大会でJR東労組と共に歩み連帯することを決定したと、JR北海道労組、



さいたま市で開催された第36回定期大会

JR東海労の定期大会でも、多くの代議員からJR東労組の新体制と連帯していく発言があったことが紹介されました。

代議員の主な発言

- ・勤務制度の見直しは人事制度。乗務員を輸送サービススタッフにしていくことが安全の大前提なのか。
- ・現場無視の施策は破たんする。施策のゆがみは現場に現れる。
- ・不当労働行為は許せないが、脱退者を生み出した原因を作ったのは組合だ。
- ・今やるべきことは、労使紛争の解決と組合員を取り戻すこと。
- ・反対意見には「たたかいから逃げた」とレッテルを貼られた。こぶしを振上げるだけがたたいではない。
- ・ストの準備が全くできていなかった。戦術行使は誤りだった。
- ・成果を語っても組合員には響かず、組合員からは嘘と誤魔化しだと言われた。

「憂う会」は東労組破壊

多くの代議員から、「憂う会」なる組織が一部OBによって結成され蠢いていることに對し、臨時大会を否定する内容でもありJR東労組破壊以外の何物でもないと怒りの発言があい次ぎました。

また方針に対する修正動議は、「労使間の取扱いに関する協約70条を組合が違反した」認識は事実と異なり、18春闘に

誤った総括をもたらず」の提出があり、採決の結果反対151、棄権5、賛成94、無効1で否決されました。「組合員の再加入を実現し、あらたな東労組へ飛躍しよう」と書記長の総括答弁の後、各議案は満場一致で採択され、山口新委員長長の団結カンパニーで閉会しました。

新三役とOB会担当です

- 執行委員長 山口 浩治 (大宮)
 - 執行副委員長 村田 俊雄 (大宮)
 - 執行副委員長 氏家 善範 (仙台)
 - 執行副委員長 徳野 幸久 (高崎)
 - 書記長 加藤 誠 (大宮)
- *OB会担当は徳野執行副委員長と田崎組織研修担当部長です

「憂う会」に対する本部OB会の見解

JR総連及びJR東労組から「JR東労組を憂う会」に対する見解が求められ、6月25日の第1回役員会の中で議論し、組織破壊であると断定しました。

「憂う会」は、現在12地本一丸となって組織の再整備、再構築のために奮闘しているJR東労組を「御用組合」、JR総連については「連絡調整機関」と規定し、「JR総連通信号外」を、「犯罪的な闘争破壊」だとしている。また第35回臨時大会を「無効」というに至っては、臨時大会を創り上げた全ての組合員に対する背信行為であり、JR東労組破壊の何物でもない事を第1回役員会の総意として確認しました。

横浜

6月9日13時30分より茅ヶ崎市勤労市民会館で、「第22回定期総会」を82名の参加者で開催しました。

来賓には地本、本部OB会の他に、JRH貨物労組OB会の仲間も駆け付けてくれました。総会では5名の会員から発言がありました。

総会後は、木之下地本委員長より約1時間に亘って講演が行われ、恒例の懇親会では、盃を酌み交わしながら楽しい一時を過ごしました。

新役員体制
 会長 永徳 丈男
 副会長 杉永 哲也
 進藤 昇明
 神山 満明
 事務局 芝 忠男

大宮

6月9日13時30分より大宮総合車両センター講習室で、「第19回定期総会」を100名の参加者で開催しました。

来賓には、地本、本部OB会、エルダー会、シニア会、埼玉シニア連合、鉄道ファミリーなど多彩な顔ぶれが揃いました。

来賓挨拶の後には、廣木地本副委員長より「JR東労組の現状と今後の課題」と題して講演がありました。発言者は8名でした。総会後は、食堂で恒例の懇親会を行いました。

新役員体制
 会長 大谷 和夫
 副会長 佐藤 晴夫
 長谷川 雄二
 平川 昭夫
 雨谷 誠
 事務局 福田 哲男

盛岡

6月14日13時より盛岡地本の会議室で、「第22回定期総会」が60名の参加者で開催されました。

来賓には、地本、本部OB会の他に森びとみちのく事務所と岩手県退職者連合の代表が参加しました。

総会では、「OB会はみんなで頑張っていこう」など6名の会員から発言がありました。終了後は懇親会が開かれ、遠くから参加した会員など久しぶりに会う喜びで会場は盛り上がりました。

新役員体制
 会長 小田島 彰
 副会長 田村 俊一
 大橋 眞一
 伊藤 壯一
 内海 勝行
 事務局 橋本 利則

各地で続々と定期総会、長野は延期に

八王子

6月16日14時より八王子労政会館で、地本OB会結成20周年記念の「第21回定期総会」を、OB会結成に携わった関係者を含めた85名の参加者で開催しました。

今回は総会に先立ち、奈良初代地本委員長より「東労組の現状とOB会の課題」と題した講演がありました。

総会には来賓として地本、本部OB会が参加し、4名のOB会員から発言がありました。総会後は、OB会結成20周年を祝う懇親会を開きました。

新役員体制
 会長 味原 進
 副会長 平井 博明
 丹澤 昭治
 事務局 阿部 得男

水戸

6月24日12時30分より「ホテルシーズン」で、地本OB会結成20周年記念の「第21回定期総会」が40名の参加者で開催されました。

この総会には、県退職者連合の会長と歴代の地本OB会長も参加しました。第1部は、黒澤地本委員長の講演で、第2部の総会では6名の会員から発言があり、「楽しいOB会を創ろう」と確認されました。

第3部の懇親会は、20周年を祝う喜びで盛り上がりました。

新役員体制
 会長 栗村 幸雄
 副会長 狩谷 光治
 柳内 英道
 事務局 柴田 正寛

第2回ブロック別支部OB会代表者会議

ブロック名	開催日時	開催場所
東 関 東	8月23日 13時	本部小会議室
西 関 東	8月24日 13時	本部小会議室
上 信 越	8月27日 13時	高崎地本会議室
東 北	8月29日 13時	盛岡地本会議室

＊支部OB会や地域の活動を活発にしよう！

東京地本OB会がゴルフ交流会

東京地本OB会は6月1日埼玉県・川越グリーンクロスにおいて、8組31名のOB会員の参加で第13回目のゴルフ交流会を開催しました。

この日は好天で絶好のゴルフ日和となり、芝生の緑が私達OBを大歓迎してくれました。ここ川越のゴルフコースは、地名の通りクリークの多いコースでした。

ゴルフ交流はドラコンやニアピンに日頃の腕を発揮する人、73歳で81のベスグロのOBが活躍するなど、レベルの高いゴルフ交流会となりました。

プレー後は「クラブハウス」を会場にして懇親会を開き、成績自慢をする人や不成績の言い訳をする人などの会話が盛り上がり、楽しい一日を過ごしました。(東京地本OB会)



千葉地本OB会が恒例の潮干狩りを実施

6月1日(金)千葉地本OB会は、木更津・中の島公園で恒例の潮干狩りを実施しました。当日は、晴天に恵まれ絶好の潮干狩り日和となりました。

今年は、高崎・長野の皆さんは参加できませんでしたが、本部OB会や東京の仲間の皆さんが駆けつけ楽しい潮干狩りとなりました。アサリは、全体的に小ぶりでしたが、参加者の皆さんは定量の2Kg程度は採っていました。

第二部の懇親会には新発田OB会長、地本中曽根組織部長や東京の染谷OB会長より挨拶を頂きました。

また福島第一原発事故により、浪江町から家族で避難してきた、半谷さんから避難の苦労話があり、「福島には私と同じような多くの避難者がいる事を忘れて欲しい」との挨拶がありました。

懇親会では、大抽選会も行われ当選番号が読み上げられるたびに、大きな歓声と拍手があり、当選した人もしなかった人も大いに盛り上がった抽選会となりました。

最後に、新発田会長の「団結ガンパロー」を参加者全員で三唱して終了しました。

来年は参加者を更に拡大し、「楽しく賑やかな」OB会活動をめざしていきます。

(千葉地本OB会)

